

新田地区

社協だより

◆第 16 号◆
令和元年6月 20 日

発行
新田地区社会福祉協議会
発行責任者：橋川 光男

会長挨拶

新田地区社会福祉協議会

会長 橋川 光男



日ごろから、
新田地区社会福祉協議会の

活動に対し、会員皆さまのご理解とご協力により推進していることに衷心より感謝申し上げます。

天皇の代替わりに伴い、「退位礼正殿の儀」で、明仁天皇が退位されました。憲政史上初の天皇生前退位ということ、テレビや新聞報道にて日本国憲法の国民民主権と政教分離にふさわしい行事として、一人ひとりの国民の目に焼き付いたと思われまふ。

平成から令和の新時代に移りましたが、今までの通り何ら変わることなく暮らしていくことになると思います。

現在、私たちは、高齢化社会に軸足をのぼし「健康寿命延伸プラン」に基づき、健康で長生きしたいと願っております。

生活習慣の改善や自ら健康管理を作成し、自立しながら日常的に予防を考えるべきです。

一方、厚生労働省の考えによりまずと、介護では待

着任ご挨拶

新田小学校

校長 須藤 洋



今年四月に仙市立松森小学校から赴任してまいりました須藤でございます。どうぞよろしくお願いたします。

赴任してわずかですが、日々新田学区の素晴らしさを感じております。

先日、子供たちの安心・安全の為に通学路に立って下さっている方々とお会いすることがありました。中には交通指導隊の活動を始めて五十年になるといふ方、二十五年になるといふ元民生委員の方がいらっしゃいました。

この学区には新田小学校のことを、子供たちのことを心から大切に思っていてくださっている方々が沢山いらっしゃるということを知り、心からありがたき思いました。

本校の学校づくりの基本姿勢は「傾聴」と「対話」。テーマは、「あい」のある学校です。

①挨拶や会話が飛び交う学校。
②「学び合い」「助け合い」「認め合い」がある学校。

③「私」(I) が大切にされる学校。

④多くの眼(eye)で見守る学校。

⑤子どもを愛おむむ学校を
目指して、教職員一同力を
合わせて取り組んでま
いります。

一学期の始業式に子供たち
に以下の話をしました。

『学校はなりたいたい自分に向
かって仲間と共に努力し続
ける所です。皆さんはどん
な自分になりたいですか？
そして、その為にどんな努
力を続けられますか？この二つ
をできるだけ具体的にイメ
ージしましょう。新学期に
意欲に燃えてスタートして
も、必ず』

①「嫌だなあ」。

②「大変だなあ」。

③「面倒くさいなあ」。

④「辛いなあ」。

の壁が出てきます。その壁に
負けないで努力を続けて
ください。』

小学校時代に、自分がや
ると決めたことを粘り強く
続ける力を身に付けた人は
強いと思います。くじけそ
うになった時に頑張ること
ができるよう、学校には仲
間が、そして先生がいます。

私もなりたいたい自分に近づ
く努力を子供たちと一緒に
続けていきたいと思ってい
ます。

着任ご挨拶



仙台市立東仙台中学校
校長 齋藤 宏之

本年四月一日に校長として着任いたしました齋藤宏之と申します。仙台東部地区で最も歴史と伝統のある学校に勤めさせていただくことになり、大変光栄に感じております。同時に、地域の中で生かされる学校づくりを担う責任を痛感しているところでございます。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、今年度の本校の生徒数は六四九名・二二学級となり、今後も増加する見込みです。多くの生徒が地域の中で成長していく中で、ますます地域の方々の関わりを強化していくことが大切であると考えております。もちろん中学生は、まだまだ皆様に助けられながら生活していく存在であります。一方で、地域防災や高齢者福祉への貢献など、活用の仕方によってはかなり心強い戦力ともなり得ます。「守られる存在から守る存在へ」、中学生は地域人と

しての転換期にあると言えます。今年は「働き方改革元年」と称され、中学生に関わる部分としては、部活動の適正な時間での活動の遵守が進められ、時間的には今までの部活動の時間の一部を地域の活動に当てられることも考えられます。本校は、市内有数のボランティア活動実践校です。

そこで、地域の方々が学校を介さずに、直接に生徒たちに関わっていく機会が拡充されていくことが、真のボランティアの活動として今後ますます必要になってくると思います。新田地区社会福祉協議会がその先鞭を付けていただく団体とともに、貴団体のますますの御発展を祈念いたします。

地域に根ざした保育所



保育所 新田こぼと園
園長 伊藤 貴子

三月末、今野弘子園長先生が四十一年七ヶ月勤め上げ、退職されました。それに伴い、四月より園長になりました伊藤

貴子と申します。こぼと園が新田三丁目にあった平成四年に入職し、当時は定員六十名の温かな雰囲気のある保育所でした。民生委員の方々が設立した全国唯一の保育所であるこぼと園が、園舎の老朽化により平成十四年に新田東地区に一一〇名定員で新築移転しました。

現在、〇歳児から五歳児までの乳幼児一一三名が木のぬくもりを感じる園舎、広い園庭でのびのびと元氣いっぱい過ごしています。また、地域子育て支援事業と一時預かり事業を行い、今年で十八年目となります。どちらの事業も地域に定着していることを実感しています。

こぼと園の特色は新田地区の民生委員児童委員の方々の関わりを大切にしながら、老人クラブとの交流、日赤奉仕団との花壇の植え、老人福祉施設訪問、町内会の盆踊り参加などがあります。また、姉妹園である八幡こぼと園の五歳児と一緒に青葉祭りに平成十五年から参加しています。乳幼児の大事な時期だからこそ、スマホに頼らず、目と目を合わせ心を通わせ

高齢者の相談窓口



東仙台地域包括支援センター
所長 鈴木 奈々

日頃より当センター業務にご協力賜り厚く御礼申し上げます。先生方が大切に育んできたこぼと園を守り、新しい時代のニーズに合わせ、地域に根ざした開かれた保育所として尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これからも、歴代の園長先生方が大切に育んできたこぼと園を守り、新しい時代のニーズに合わせ、地域に根ざした開かれた保育所として尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。暖かく活気のある新田地区で皆さまがこれからも安心して生活できますよう私を始め、センター職員一同微力ではありますが貢献して参りたいと考えております。日頃、自転車や車で回っておりますので、お見かけの際はぜひお気軽にお声かけください。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

みななどについて地域の皆さまに教えて頂きました。所長として未熟で至らない点が多い中、地域の皆様の暖かいご支援に大変感謝しております。さて、地域包括支援センターでは、高齢者の生活に関わるさまざまな相談に対応し支援を行っております。中でも仙台市として特に力を入れてるのが、高齢者が住み慣れた場所です。自分らしく暮らし、安心して最期を迎えられる地域をつくるべく、地域包括支援センターでは、高齢者の生活に関わるさまざまな相談に対応し支援を行っております。中でも仙台市として特に力を入れてるのが、高齢者が住み慣れた場所です。自分らしく暮らし、安心して最期を迎えられる地域をつくるべく、地域包括支援センターでは、高齢者の生活に関わるさまざまな相談に対応し支援を行っております。



新団長ご挨拶

新田赤十字奉仕団

団長 郷家 仁志



みな様こんにちは、爽やかな風がうれしい季節になりましたがいかがお過ごしですか。

新田町内会会長の郷家仁志です。この度新田赤十字奉仕団の団長でした相馬宏身さんが退任されました後任に私、郷家仁志が後を引き継ぐことになりました。

『人間を救うのは、人間だ。』をキャッチコピーをもとに赤十字が活動しています。国際救援。災害救援。医療事業。青少年赤十字。血液事業。看護師要請。救急法等普及事業。赤十字ボランティア。と言う八つの使命があります。みな様はいくつわかりますか。私も始めのころは、赤い羽根の共同募金程度の事しかわかりませんでした。テレビのニュースなどで災害救援や医療救援そのほかいろいろな国際問題の中で赤十字の支援活動がたくさんありました。

何度か研修会や講演会を

受けまして。大変な事業だということがありました。平成から令和と元号が変わりましたが元号が変わってもみな様には各地区の団員と共に変わらないご支援ご指導を宜しくお願い致します。

ボランティア活動を通して思うこと

新田よろこびの会

会長 佐々木祥子



「新田よろこびの会」は今年で27年目を迎えました。主な活動は一人暮らしの高齢者への配食です。

配食はお弁当を作り届けることだけではなく、直接本人と顔を合わせ、会話することで彼らを見守ることもあると思います。年4回の小さなボランティアですが、住み慣れた我が家で、孤立することなく安心して住み続けられたらとの思いで活動しています。

ところで、支援される側として見られがちな高齢者ですが、私たちの会員には高齢者(失礼!)が多くいます。とても長い間活動を続けている方も少なくありません。

そして一人一人がこの活動に欠かせないばかりです。これまでの長い人生で得た様々な経験や知識を生かす場があれば、助け合う仲間がいれば、誰かのための力にもなれるはず。年齢や性別に関わらず、人の交流や役割はやりがいや充実感につながるのだと思います。

また私たちは毎年東部市民センターのふれあいまつりやコミセンまつりでバザーをしたり、新田小学校の1年生との交流に参加したりしています。配食やこれらの活動は社協や日赤、そして地域の皆様のご支援、ご協力により続けていくことができます。これからも地域で長く活動し続けられますよう引き続きよろしくお願いいたします。

活動報告

平成三十一年度新田地区小地域福祉ネットワーク懇談会が二月二十三日に新田コミュニティセンターで開催されました。

新田地区社会福祉協議会会長橋川光男の挨拶から始まり話題提供として東仙台地域包括支援センター所長高野亮様に「支え合いの地域づくり」を講演していただきました。団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年を目途に重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域ケアシステムの構築の実現を目指していると話されました。また地域がどのように関わったらいいのか認知症の四つの事例は大変参考になりました。講演資料の一部を抜粋してご紹介すると、お互いが無理なく助け合うこと。安定した隣人でいること。ある程度の距離を置いてよけいなことは喋らないで深い話し合いはしないこと。その為に必要なのは、地域の方々が一人で抱え込まずに、困っている方のことを町内会や民生委員、福祉委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどに相談しやすい地域づくりの大切さと、認知症について地域の皆さんの

理解を深められる機会づくりが大事だということ。その為にも認知症サポーターフォローアップ研修等の参加をお勧め致します。最後に講師の高野亮前所長様はこの講演を最後に青葉区落合へ異動されました。今まで新田地区のためにご尽力いただきありがとうございます。今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。





平成30年度 新田地区社会福祉協議会 各町内会別普通会費・特別賛助会費 集計表

(H30.9.14)

町内会名	普通会費		特別賛助会費		合計金額
	件数	金額	件数	金額	
古 宿	300	90,000			90,000
新 田 西 町	165	50,400	23	27,000	77,400
新 田 北 町	395	118,500	22	26,000	144,500
新 田	333	100,000	15	15,000	115,000
小 鶴 西 田	160	48,000	11	11,000	59,000
小 鶴 南 部	333	100,000			100,000
館 町 一 丁 目	200	60,000	15	15,000	75,000
館 町 二 丁 目	215	64,500	9	9,000	73,500
高 瀬 町	244	73,200			73,200
パークシティーイーストアイランド	100	30,000			30,000
新 田 民 児 協			21	21,000	21,000
合 計	2,445	734,600	116	124,000	858,600

平成30年度 いきいきサロン活動実施状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

番号	開催日時	町内会名	代表福祉委員	参加人数	活動内容
1	5月20日	小鶴西田・南部	伊 藤 みさ子	42名	軽食付き茶話会（軽い体操やカラオケや踊り有り）
2	5月26日	新田北町	鳥 山 美智子	33名	軽食付き茶話会（軽い体操やゲームや歌有り）
3	6月7日	新 田	小 畑 安 男	25名	栄養について学び、健康寿命を延ばそう！
4	7月10日	高 瀬 町	池 田 恵里子	31名	元気いきいき教室『今日から始める健腸生活』
5	7月29日	小鶴南部	伊 藤 みさ子	28名	軽食付き茶話会（軽い体操やカラオケや踊り有り）
6	9月6日	新 田	小 畑 安 男	18名	運動について学ぼう～楽しく体を動かし健康作り～
7	10月21日	小鶴西田・南部	伊 藤 みさ子	42名	軽食付き茶話会（軽い体操やカラオケや踊り有り）
8	10月23日	高 瀬 町	池 田 恵里子	30名	元気いきいき教室『楽しみながら体を動かし健康維持』
9	10月30日	古 宿	早 川 宏	30名	楽しく過ごして『うつ予防』ゲーム・踊り・合唱
10	11月12日	新 田	小 畑 安 男	13名	口腔の健康について学ぼう！～口腔の健康を保ち元気に長生き～

平成30年度 6地区町内 サロン回数 全10回 参加人数292名